

# 留学報告書

記入日:2015年7月4日



所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科法曹コース
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: テンプル大学 現地言語: Temple University
留学期間	2014年8月～2015年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Fox School of Business
帰国年月日	2015年7月1日
明治大学卒業予定年	2016年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月上旬～12月下旬 2 学期:1月下旬～5月上旬
学生数	28068人
創立年	1888年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		円	交換留学のため明治大学が負担
宿舍費	9,000	100万円	
食費	4,000	50万円	
図書費	1,000	12万円	
学用品費	100	1万2千円	
教養娯楽費	1,000	12万円	主に旅行など
被服費	400	5万円	
医療費		円	
保険費	800	10万円	形態: 大学が指定したものを購入
渡航旅費	1,800	20万円	
雑費		円	
合計	\$ 18,100	210万2千円	

## 渡航関連

### 渡航経路:

往路: 大連→成田→シカゴ→フィラデルフィア

復路: ニューヨーク→シカゴ→成田

### 渡航費用

チケットの種類	往路が早割で復路が学割
往路	10万円
復路	10万円
合計	20万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方～アメリカ編～

## 滞在形態関連

### 1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎(Temple Towers)

### 2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数6)

### 3) 住居を探した方法:

現地のアドバイザーに薦められて

### 4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は Global Learning Community という現地のアメリカ人学生半分、世界中からの交換留学生半分に混ざりながら滞在中にできたおかげで、授業でわからなかったことやアメリカについて、アメリカ人学生に質問できたり、いろいろな国々の風習を知ることができ、とても充実していました。

\* 女子の部屋はアメリカ人学生が十分におらず、全員交換留学生というケースがありました。

## 現地情報

### 1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した: 可能

### 2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

まずはルームメイトに相談しました。

大学にも何でも相談できるカウンセラーがおり、その存在は最初のオリエンテーションで知らされました。

### 3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の学生やルームメイトたちに聞いたり、情報収集しました。

基本的に夜は出歩かず、日中はキャンパス内で行動していました。そのおかげで犯罪に巻き込まれたことはありませんでした。

### 4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは高速で大変安定していました。また学内のインターネットも広範囲で不自由しませんでした。携帯電話は現地で知り合った留学生5人と T-Mobile のファミリープランに加入し、一ヶ月25ドルぐらいでデータ通信、テキスト、通話し放題のプランに入りました。地下鉄内などでも電波が必要な人は電波が弱い T-Mobile ではなく、割高ですが At&t や Verizon をお勧めします。同様のプランで月45 \$ です。携帯は日本から SIM フリーのものを持って行きました。

### 5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座は開設せず、日本から持っていったクレジットカードのみで生活しました。

### 6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

男子については頭髪のジェルを持っていけば、誰が切っても自分の納得いく髪型になると思います。

また歯ブラシ、歯磨き粉はアメリカのものよりも日頃慣れ親しんでいる日本の物を持っていくことをお勧めします。

## 進路について

1) 進路
就職 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
23単位	<input checked="" type="checkbox"/> 22単位 (明治大学には3単位の科目が存在しないため、差異で生じた各科目の1単位は留学関係科目 A II、B I、B II、C I として計8単位が認定された) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Law and American Society	法と社会
科目設置学部・研究科	Fox School of Business
履修期間	8月25日～12月17日
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Hodge 先生
授業内容	アメリカの全般的な法律の基礎部分を幅広い角度から解説してくれます。
試験・課題など	授業中のクイズ、グループプロジェクト、Edmodo での小レポート10回、レポート5回 中間・期末テスト
感想を自由記入	Hodge 先生の授業は様々なスライドを駆使した学生参加型の授業であり、とても面白く、この科目を履修したおかげでアメリカ憲民刑法、特許法、会社法など様々な法律の核となる部分を学べました。課題はたくさんありますが、とても面白く学び甲斐があり、授業終了後も学んだ内容を定着させることができました。アメリカの法全般に対するイントロダクションの授業として大変お勧めです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Law of Contracts	契約法
科目設置学部・研究科	Fox School of Business
履修期間	8月25日～12月17日
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Oconnell 先生
授業内容	アメリカの契約法について学んでいきます。
試験・課題など	中間テスト3回、期末テスト1回
感想を自由記入	テストの問題はすべて選択式ですが、50分で100問に答えないといけないので大変でした。まだ、テストで良い成績を残すには相当時間の自学が必要となる科目です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The Litigation Process	訴訟法
科目設置学部・研究科	Fox School of Business
履修期間	8月25日～12月17日
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Lammendola 先生
授業内容	アメリカでの訴訟の仕方について学びます。
試験・課題など	模擬裁判、プレゼンテーション 中間テスト、期末テストそれぞれ1回
感想を自由記入	訴訟は細かい規則が多くなかなか大変でした。比較的人数も少なく、発表の機会も多いです。模擬裁判では裁判官をやりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Law	国際法
科目設置学部・研究科	Fox School of Business
履修期間	8月25日～12月17日
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Woodring 先生
授業内容	主にビジネスに関連する国際法について学びます。
試験・課題など	レポートが5回 中間テスト3回、期末テスト1回
感想を自由記入	自分としては非常に興味があった分野であり、先生の授業もわかりやすく、今後役に立つ講義でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Citizenship		国際市民になるために	
科目設置学部・研究科	特になし		
履修期間	8月25日～12月17日		
単位数	1		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル		
授業時間数	1週間に80分が1回		
担当教授	Miller 先生		
授業内容	国際的な問題について、交換留学生やアメリカ人学生が討論しながら授業を進めていきます。Global Learning Communityに参加している学生は必須となっています。		
試験・課題など	レポートが2回 授業中の発言		
感想を自由記入	様々な国々の学生と討論できて興味深い授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Law Beyond Borders		国際法	
科目設置学部・研究科	Beasley School of Law		
履修期間	1月12日～5月6日		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Dunoff 先生		
授業内容	主に人権を中心とした国際法について。		
試験・課題など	レポート、小テスト、模擬裁判/会議各5回ずつ 中間テスト2回、期末テスト1回		
感想を自由記入	通常学部生がロースクールの授業を履修することはできないのですが、この授業はロースクールが学部生向けに2015年春学期から開講したものです。先生もロースクールの方で、評価方法以外の授業形式もロースクールそのもので、自分としては大変良い経験になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Legal Environment of Business		法とビジネス	
科目設置学部・研究科	Fox School of Business		
履修期間	1月12日～5月6日		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Hodge 先生		
授業内容	アメリカの法律全般的、特にビジネスに関して生徒参加型の講義が行われます。		
試験・課題など	授業中のクイズ、グループプロジェクト Edmodoでの小レポート10回、レポート5回 中間・期末テスト		
感想を自由記入	スライドを使って大変わかりやすく授業が行われ、課題が多い分授業が終わった時の達成感や習得度がとても高いです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Law of Contract		契約法(2回目)	
科目設置学部・研究科	Fox School of Business		
履修期間	1月12日～5月6日		
単位数	3(最終的に加算されず)		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態			
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	lsscas 先生		
授業内容	契約についてさまざまな判例を基に学びます。		
試験・課題など	中間テスト、期末テスト各1回ずつ		
感想を自由記入	ロースクールで実際に使われるような判例などを基に契約法を学ぶため、大変難しく、予習の量もかなり多いため大変でした。また、同名目の授業を二つ履修できないと知らず、結果的に単位に加算されませんでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Law for the Enterpreuner		会社法	
科目設置学部・研究科	Fox School of Business		
履修期間	1月12日-5月6日		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Bongiovanni 先生		
授業内容	会社に関する法律について学びます。		
試験・課題など	テスト4回 最後にレポート1つ		
感想を自由記入	アメリカで起業する際にどのような形態の会社を選択できるか、また良いのかなどためになることを学びました。		

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	英語の勉強
4月～7月	TOEFL・IELTS 受験
8月～9月	明治大学法学部が主催するケンブリッジ大学法学研修に参加
10月～12月	協定校留学出願
2014年 1月～3月	選考・面接
4月～7月	出願書類や米国ビザの準備
8月～9月	秋学期の開始
10月～12月	秋学期が12月17日で終了
2015年 1月～3月	1月下旬から春学期の始まり
4月～7月	5月6日に春学期終了 LSAT の勉強・受験 帰国準備・帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	新しい環境に飛び込むことは大変ですが、その分学べることも多く、自分を成長させることができるということを幼い頃に経験し、留学し、新しい環境に飛び込むことでもっと自分を成長させたかったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語をしっかりと向上させることは留学を成功させる上で大切なことであると思います。また、問題が発生した時に動じない心構え、そしてどのような人に対しても先入観を持たずに交流できる心構えを準備した方が良いと思います。
この留学先を選んだ理由	東部のしかも都市部にあり、ロースクールが有名だったのがこの大学を選んだ理由です。
大学・学生の雰囲気	州立大学であるため大部分の学生は州出身者です。その一方で日本やローマにもキャンパスがあり、国際交流が盛んな一面も持っており、世界各国から学生が集まります。学生はお互いをあまり干渉せず、自分の道をそれぞれ歩んでいます。
寮の雰囲気	寮の同じ部屋に住んでいた5人は個性がありつつ協調性も持っており、一年を通して仲良く快適に過ごすことができました。みな専攻が異なっており、学科を超えた交流ができたのは興味深かったです。
交友関係	ルームメイトや一緒のフロアの人々とまずは仲良くなりました。授業を通して友達を増やすことはなかなか難しいため、法に関する Academic Fraternity である Phi Alpha Delta に参加することで交友関係を広げることができました。
困ったこと、大変だったこと	日本よりも空気が乾燥しており、着いてすぐに喉が痛くなりました。また、冬は想像以上に寒く、持って行った冬服を全て着込んでも寒かったです。
学習内容・勉強について	基本的に各授業毎週課題を出されますので、毎日やる必要があります。一つ一つ着実にこなすことで期末での良い結果が見えてくるので、大変ですが、学ぶことの楽しさと苦しさを噛み締めつつ、毎日机に向かいました。
課題・試験について	レポートと小テストが週ごとに交互に来ることが多かったです。基本的に毎週必ず成績に影響するイベントがあるので、気が抜けなく息苦しい時もありましたが、金曜日などにしっかり休み、気分転換することで乗り越えました。
大学外の活動について	ロースクールの学生たちの模擬裁判に陪審員として参加しました。
留学を志す人へ	留学は準備する段階から多くの作業があり大変ですが、それらを一つ一つこなすことも自分を成長させてくれる機会であると思います。また、まず行動することも大切だと思います。なりたい自分を思い描き、一步一步留学に向けて頑張りましょう！

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		図書館で課題(一日)
	授業	自習	授業	自習	授業	センターシティに出かける	
午後	自習	自習	Phi Alpha Delta の活動	自習			
	自習	授業	自習	授業			
夕刻	プール	自習	プール	自習	友人と食事		
夜	自習	自習	自習	自習			





Fox School of Business



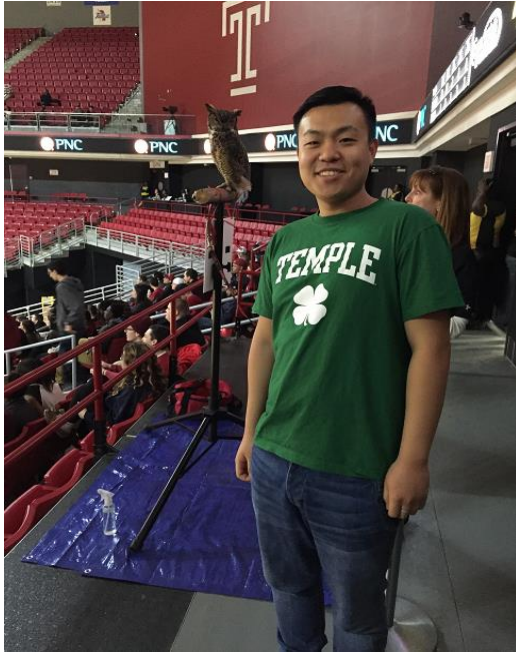
James E Beasley School of Law



Phi Alpha Delta での活動



陪審員として参加したロースクールの模擬裁判



テンブル大学対ジョージワシントン大学の  
バスケットボールの試合にて